

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	ユニットミーティングを定例化することができ、スタッフ間の情報共有も密になってきているが、ケアの目標の統一が課題である。	各ご入居者に現状に合わせた役割を持っていただけるよう支援を行い、日常生活の充実を図る。	ユニットミーティングでご入居者個々の特徴・生活スタイルの変化の情報共有を密に行い、生活力に合わせた役割を持ち、より充実した生活を過ごせるよう支援を行う。	12ヶ月
2	13	全職員が、認知症の知識を深め、よりよいケアが行えるよう継続的に研修を行う必要がある。	全スタッフが、認知症ケアについて段階的に学ぶ機会を設け、「各ご入居者らしい生活を支援する」という視点や課題のとらえ方、より良いケアを学び合う。	毎月の勉強会の時間内に、認知症について学び合う時間を設け、段階的に知識・技術の向上を図る。 外部研修にも積極的に参加し、報告し合う機会を設ける。	12ヶ月
3	49	年に1度のバス外出や外食を楽しむ機会を設けているが、日常はGH周辺の散歩が主である。ご家族の協力を得ながら、気候に合わせて近郊への外出の機会を増やしていきたい。	近郊の公園や神社など、ご入居者が希望する外出に機会を増やす。	以前より検討している公園への外出を企画・実行する。ご入居者が興味を持たれている場所を機会あるごとに聞き取り、外出企画・実行を重ねていく。 ご家族が気兼ねなく参加できるよう働きかけていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。